

あなたと共にあゆむ



# 議会 だよ

No. **131**  
2002年8月15日発行

## [6月定例会]



◇ 6月議会のあらまし 条例・予算・その他	.....	2
◇ 一般質問 「村元地区の農水路と佃溝及び今別小学校の佃溝整備について」他(2名6項目)	.....	3～5
◇ 陳情及び研修	.....	6～7
◇ 議会のごき他 議会のごき・議員提出議案、ごんじきゅうけい	.....	8

暑中

お見舞い

申し上げます。

平成14年8月

今別町議会(議席順)

- |     |       |
|-----|-------|
| 議長  | 嶋中 春光 |
| 副議長 | 齊藤喜代光 |
| 議員  | 阿部多喜男 |
| 〃   | 小鹿 勉  |
| 〃   | 長島三千次 |
| 〃   | 明田 平苗 |
| 〃   | 嶋中 忠也 |
| 〃   | 阿部 信一 |
| 〃   | 中嶋 保昌 |
| 〃   | 宮本 清七 |
| 〃   | 阿部 修吾 |
| 〃   | 平山 順一 |
| 〃   | 島中 春光 |
| 〃   | 佐藤 豪  |

参事兼  
事務局長 澤田 嘉男  
総括主幹 工藤 明美

# 6月定例会できまじたいじゆ 10日～13日

第335回、6月定例会は6月8日召集され、会期を13日までの期間で開催されました。補正予算は一般会計、特別会計とも緊急を要するものが補正計上されました。そのほか、報告1件と、条例制定の一部改正、補正予算等15議案です。

提案された議案は、それぞれ慎重審議し、いずれも原案どおり全会一致で可決しました。なお、今議会に提出された議員提案1件、請願書2件を可決しました。

## 条例関係

●今別町消防団条例の一部改正

社会構造の変化による団員不足から、団員資格を58歳から60歳に引き上げるための提案

●今別町税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴い今別町税条例の一部を改正するものでありますが、個人町民税の均等割・所得割の非課税限度額の改正に関するものが主なものである。

●今別町老人憩の家設置条例を廃止する条例

老朽化した老人憩の家の用途を廃止するための



老人憩の家

提案

## 予算関係

●一般会計補正

歳入歳出にそれぞれ3,970万円を増額し、予算総額30億2,377万4千円とした。

歳入の主なものは、財政調整基金繰入金1,200万円、原燃サイクル特別対策事業交付金1,000万円増額補正、道路整備事業債1,120万円の増額補正

歳出では、人事異動に伴う給与等人件費についての所要の額を調整したほか、公社設立出資金1,000万円、地域エネルギー対策事業出資金1,000万円、合併問題

住民研究会・費用弁償費14万4千円、村元・大川平線現況拡幅工事費1,200万円を計上

●国民健康保険事業勘定特別会計補正

歳入歳出にそれぞれ15万7千円を増額し、総額4億3,952万6千円とした。歳入につきましては、一般会計からの繰出金115万6千円を増額補正した。

●国民健康保険診療施設勘定特別会計補正

人事異動に伴う給与等の人件費の調整で総額に変更ない。

●介護保険介護サービス事業勘定特別会計

、015万5千円を増額し、総額3億6,469万1千円とした。

歳入につきましては、一般会計からの繰入金1,015万5千円を増額補正した。

●介護保険事業勘定特別会計補正

歳入歳出にそれぞれ921万円を減額し、総額2億3,833万円とした。

歳入につきましては、一般会計からの繰入金921万円を減額補正した。

以上の3特別会計は、人事異動に伴う人件費の調整が主なものである。

●老人保険特別会計補正

6億2,944万2千円とした。  
歳入につきましては、前年度医療庫負担金の精算分として27万9千円、前年度医療費負担金精算分として60万4千円。  
歳出では、平成13年度分医療費返還金211万円、繰出金として、一般会計前年度精算分として97万3千円を計上

●水道事業会計補正

人事異動に伴う人件費の調整が主なもので、収益収入及び支出の予算に861万7千円を増額し、総額1億3,310万3千円とした。



村元・大川平線拡幅工事

報告・専決・その他

●平成13年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

公共土木災害復旧事業（西田・二股・鍋田・大泊地区の道路補修）の年度内の事業完了が見込まないことから4、472万9千円を繰越明許費とした。



▲大泊地区災害復旧工事

●平成13年度一般会計補正

歳入歳出にそれぞれ2,349万5千円を増額し、予算総額32億3,851万9千円とした。

歳入として、特別交付税2、606万4千円を増額補正、保育所施設整備事業債270万円減額補正。歳出については、今別保育園施設改良工事費13万円減額補正、財政調整基金1、900万円積立計上した。

●平成13年度国民健康保険事業勘定特別会計補正 歳入歳出にそれぞれ6万2千円を増額し、予算総額4億6、174万9千円とした。

政調整基金6万2千円積立計上した。 ●平成13年度介護保険事業勘定特別会計補正 歳入歳出にそれぞれ13万7千円増額し、予算総額2億5、142万円とした。

金13万7千円増額補正。歳出については、居宅介護サービス給付費182万3千円増額補正。 ●平成14年度一般改正補正

歳入歳出にそれぞれ406万4千円を増額し、予算総額29億8、407万4千円とした。 道の駅アスクルの運営経費を予算計上した。 ●青森県市町村等非常勤職員公務災害補償等組合規約の一部変更

町政を問う

一般質問

6月の定例会では、2人の議員が登壇し、当面する町の重要課題について町執行部の考えをたどりました。その主な内容を要約してお知らせします。

佐藤 豪 議員

村元地区の農水路と側溝及び今別小学校の側溝整備について

護態勢ができていない。「これまでのように水路に水が来なくなつた。」早速応急の措置をされたようであるが、調整柵のフタが大きく重くなつているため、必要とき必要な調整が困難で、簡易にできるように対策をしていただきたい。

また、冬期間は側溝に雪が寄せられているため、深さのあることが分らず危険が一杯です。早期の改善を求めたいと思います。

長井 町答

村元地区の農水路は、パイパスの上からの用排水路で道路側溝も利用し、生活廃水も流され、最終的には今別川へ排水されている。水系も何箇所にも分岐

質問

村元・大川平線の道路改修にもなう、農水路の保



▲今小通学路側溝



され、関係者も多く農業排水また生活排水となっている実情から地区の方々と話し合いをしながら、詳しく調査させます。

また、今別小学校通学路の側溝整備についても、さつそく調査させ検討してまいりますので、ご了承承お願いいたします。

合併浄化槽については、全町に対して調査ということで取り組みにはいつていますので、ご了承承願います。

**建設課  
長答弁**

水利権等の関係もあり、地区の人達から聞き取りしながら、浄化槽設置も考慮し、関係課と連絡をとり詳しく調査しますのでよろしくお願いたします。

また、今別小学校の通学路側溝の箇所は国道から入ってすぐ右側は入っているが、道路から一段下っており、車も駐車し、通学路として危険と思われまます。調査し検討してまいりますのでご了承承願いたします。

**巡回バスの運行  
患者、高齢者に配慮  
したダイヤ改正と  
バス停の距離短縮を**

**問**

患者バスを廃止し、巡回バス一本化になり、患者の利用に不便が生じている。

バスに間に合わないとの声が出され、事実とすれば、もつと診察治療状況に見合ったダイヤの改善を図る必要があるのではないかと。

また、高齢者、患者の方から、バス停の距離をもつと短くできないかとの要望も出ているが、改善の考えはないかと。

**長弁  
町答**

同じ趣旨の要望が、私自身各地域を訪問して聞いております。今別橋の完成と12月のJ.Rダイヤ改正に合わせてご要望に出来るだけ応えたいと思っておりますので、ご理解願います。

**問**

仮称「荒馬の里アシスト公社」設立が町民の利益に、かなうものなのか伺います。

また、現状でどのような問題があり、公社にしなければならぬのか。現状の問題点についてお答え願いたい。

企業体としての管理運営態勢は、役員体制職員の雇用と身分はどのようなものか。

**長弁  
町答**

巡回バス職員の今後の対応と公社という問題でありますけど、公社ということとは仮称であり、いろいろな協議を得ながら、これからの問題になっていきます。

職員の待遇、正職員との格差から、別会社をという事で検討されているが、どのようなことになるかはこのからの議論になるということ、ご理解願います。

**町民センター  
(庁舎)建設につ  
いて**

**問**

町民にとって利便性が良く、町民負担の少ない建設をと言うのは多くの町民

の願いだと考えます。

また、公共的施設の利用や街の活性化・発展性等の検討から現地点への建設と言う町長の方針について、私は基本的に同感であります。

日程が独り歩きしないように疑問や意見の違いについて、十分な論議と説明を尽くして町民合意を形成していくべきと考えますが、町長の基本姿勢を改めて伺いたい。

**長弁  
町答**

町民センター建設計画については、建設用地や建設費用等については、先月町民代表による建設協議会と議会の特別委員会及び全員協議会で説明し、皆さんからご意見を拝聴したところであり、そのなかで一番金がかからない場所ということで検討されています。

少しでも安くというのが願いであり、建設協議会においても、大方の人は現在地に建設を賛成の意向であり、意見としては、駐車場等のスペースに余裕があったほうがいいと言う人や別の場所に

関しての意見もありました。

また、建設にあつては、建設基金は積立している

ものの町財政運営は厳しい状況下にありますので、先日、現段階での計画案を県市町村振興課に見ていただき色々指導を受けました。後日、県のヒアリングを受けることになっております。

町幹部会議において検討を重ねまして、議会の特別委員会や建設協議会、議員各位の意見を頂いて町民センター建設を進めたいと考えております。



▲ 現在の役場



町 村 合 併  
に つ い て  
押 し つ け 合 併 論  
の 矛 盾 点、交 付 税  
の 問 題 等

質 問

町村合併で一番大きな問題は、何と云っても財政問題です。

今、政府が画策している交付金削減額は合併してもしなくても一様に、交付金を減らすというもので、合併した新しい自治体にとっては、一層厳しいものになることは明らかです。

上磯5町村合併まちづくり構想

蟹田町 今別町 蓬田村 平館村 三股村

町 村 合 併 資 料

上磯5町村合併研究会

た。

一時的な歳入で赤字が解消されている。この起債、交付金の内容はどういうものか。

上磯地域任意合併協議会への参加は資料をもらうため、状況の見極めのため必要と、議員全員協議会で論議もされたところで、参加が必要と意見が多くあつたようですが、合併をしないと云うのも選択肢にはいつていますが、始めから反対であれば、参加の必要はないと思うがどうか。

長 井  
町 答

まず、交付税についての質問ですが、今議会の提案理由の中でもふれておりますが、交付税の見直し

は基本的には公共事業の見直しと同様、国の財政赤字を地方に転化したとみております。

任意合併協議会の加入につきましても、合併問題等に関する住民研究会に研究資料の提示のためにも必要と考えておりますのでご理解願います。

有 事 法 制  
に つ い て

質 問

有事法制はアメリカの武力行使を支援するもので、

憲法に違反する。

政府首脳の核兵器容認発言は言語同断、町長の見解はどうか。

今別町も、核兵器廃絶を願う平和自治体宣言をしている町として、今回の法案は撤回・廃案にすべきとの声が大きく広がっています。

町長の冒頭の発言もありますが、改めて所見を伺います。

長 井  
町 答

有事法案につきましても、提案理由の中で触れてお

りますが、今、国会で審議中の有事法案は、法案の定義そのものがいまいであり、法案が時政府の考え方、法案の解釈が変わるものであります。

いずれにしても、慎重に審議を重ねた論議が必要と考えるものであります。

政府首脳の核兵器容認発言につきましても、事の真意のほどが分かりませんのでコメントは差し控えます。

選管に何うことは、当時の選管指導の判断は、適正であったのか、選管へ警察署から、何かの連絡があったものと思いますが、また、選管はこの件につき、協議会等を開いて検討したことがあるのか、先程言いましたが4年半も過ぎ、大変失礼かと思いますが、明確なる答弁を承れば幸いです。

平 山 順 一 議員

選管の責任ある指導について (先の選挙の指導は適正であったのか)

質 問

先の選挙といつても、この事件は、平成9年9月14日投票の我が町の町長選挙においての事件であります。

4年半以上過ぎたところであり、今更なことで思っている方もありますが、今だに忘れられることが出来ず、頭からはなれることが出来ません。

私も初めての後援会長として慎重に慎重を期して、そのような状況なかで配布をしたところ、後日、チラシ配布が選挙違反であるとのことで警察が回収をしたと連絡があった。

総務課  
長 答 弁

お尋ねの件につきまして、平成9年9月8日執行の今別町長選挙時の選管の対応と思われませんが、同年11月発行の「議会広報いまべつ」にこの件についての一般質問で当時の選挙管理委員長と事務局長の答弁が掲載されております。

この件について当時担当の職員から事情を聴取しましたところ、ほぼ議会広報誌に掲載された記事のとおりとの事でありました。またその後の警察の捜査につきましても、町選管に対して文書の提出等いっさいなく現在に至っております。

その後選管で協議されたのかという事ですが、当時のいろいろな事実関係についてとか、通達の仕方等を話し合っております。



# 陳 情 及 び 研 修

健康と福祉のまちづくりについて、「高齢化社会に対応するため、保健・福祉・医療が連携したサービス提供拠点としての福祉保健総合センター」を6月18日秋田県比内町において視察研修しました。

比内町は秋田県の北部に位置し、農業が主産業で人口12、713人の町である。

1. 在宅福祉及び老人保健等サービスの状況

保健・福祉・介護の拠点となる福祉保健総合センターを平成11年12月に設置し平成12年4月から本格的に稼働しております。

介護サービスの提供する施設整備は、ほぼ計画どおりに進んでおり、これらの施設を活用したサービスの拡充が今後の課題となっています。

## 1. 在宅福祉及び老人保健等サービスの状況 2. 保健福祉医療施設の状況

### 在宅サービス

区 分	平成11年度実績など	老人保健福祉計画 平成11年度目標
居宅介護支援事業	社会福祉主事1人、看護師1人配置 年間相談延べ人員H11年度 1,709人	平成5年に設置
ホームヘルプサービス事業	ヘルパー8人（H11年度末）H12年度より 年間派遣回数11、019回比内ふくし会へ	ヘルパー14人 10,872回
訪問入浴介護	H11年度対象者5人 月4回限度 H11年度239回 事業者数1 入浴車台数1	訪問入浴、移送サービスを図る
デイサービス事業	利用実人員 267人 年間総延利用回数 6,328回 箇所数2箇所	利用人員116人 11,529回
短期入所生活介護 (ショートステイ)	利用実人員 131人 年間総延利用回数 739回	利用人員127人 年間回数3,435人
福祉用具給付および貸与日常生活用具給付等事業	特殊寝台8台 エアーマット10台 歩行支援用具3台 腰掛け便座4台	給付件数の拡大を図る
訪問看護	7人13回	
居宅療養管理指導	年間利用実人員23人 年間総利用日数47日 実施箇所1箇所	
痴呆対応型共同生活介護	平成11年12月より利用人数9人（グループホーム）	
居宅介護住宅改修	60歳以上の高齢者と同居者 住宅整備に対して上限150万円の貸付	上限150万円貸付 融資枠の拡大

### 老人保健サービス

区 分	平成11年度実績など	老人保健福祉計画 平成11年度目標
健康手帳	健康手帳交付状況 医療対象者 198人新規	
健康教育	一般健康教育 50回 834人 重点健康教育 30回 386人	80回
健康相談	実施回数 56回 参加延人数 1,323人	146回
健康診査	受診率 基本健診 60.68% 胃ガン検診 37.77% 子宮ガン検診 56.12% 甲状腺ガン検診 64.77% 乳ガン検診 65.42% 大腸ガン検診 53.52%	基本健診 53.1% 胃ガン検診 46.8% 子宮ガン検診 53.2% 甲状腺ガン検診 57.1% 乳ガン検診 57.1% 大腸ガン検診 55.3%
機能訓練	実施回数 12回 参加延人数 161人	1,409回 27人

その他のサービス

敬老祝い金支給事業	75歳以上の高齢者に、敬老の日に3,000円の祝い金を支給 99歳、101歳以上高齢者に年1回10万円の祝い金を支給 100歳の高齢者に100万円の祝い金を支給
福祉保健センター浴場の開放	高齢者の健康の促進や保健衛生の向上を図るため、月曜日を除く平日の午後に浴場を町民に開放するサービスを実施



▲比内町の説明を受ける

2. 保健福祉医療施設の状況  
 平成3年4月に、初めて特別養護老人ホーム扇寿苑（設置主体：比内ふくし会）、デイサービスセンター、平成5年には在宅介護支援センター、平成11年にはグループホームなどが整備されました。  
 また、平成12年の介護保険の導入を円滑に進めるための基盤整備および保健・福祉施策を一体的に推進するために単独型支援センター、デイサービスセンターおよび高齢者生活福祉センターと併設した福祉保健総合センターを整備しています。今後、特別養護老人ホームの増床、およびグループホームの増設を計画しています。

保健福祉医療機関の整備状況

施設区分	施設名	定員	所在地	設置主体	運営主体	開設年度	老人保健福祉計画による目標
特別養護老人ホーム	扇寿苑	50人	比内町	福比内ふくし会	福比内ふくし会	平成3年度 ショートステイ専用床20床	平成2年度 50人
デイサービスセンター	扇寿苑デイサービスセンター	-	"	"	"	平成3年度 特養扇寿苑併設	平成11年度 4箇所
"	比内町福祉保健総合センター	-	"	比内町	"	平成12年度 福祉保健センター併設	
在宅介護支援センター	扇寿苑在宅介護支援センター	-	"	福比内ふくし会	"	平成5年度 特養扇寿苑併設	平成5年度 1箇所
"	比内町福祉保健総合センター	-	"	比内町	"	平成12年度 福祉保健センター併設	
高齢者生活福祉センター	比内町高齢者生活福祉センター	11人	"	"	比内町	平成12年度	
保健センター	比内町福祉保健総合センター	-	"	"	"	平成12年度 一般町民用浴場設置	平成10年度 1箇所
グループホーム	扇寿苑	9人	"	福比内ふくし会	福比内ふくし会	平成11年度 特養扇寿苑併設	
老人憩いの家	薬師荘	-	"	比内町	比内町	昭和47年度	平成12年度 1箇所改築
中野高齢者生産活動施設		-	"	比内町	比内町	昭和61年度	
高齢者いきがいセンター		-	"	比内町	比内町	平成4年度	比内町児童館と併設

社会福祉協議会の活動

事業名又は活動名	事業内容又は活動内容	老人保健福祉計画平成11年度目標
心配ごと相談事業	H11年度開催36回、相談件数16件	
おむつ費支給事業	常時おむつ使用者に対して月額4,500円支給 H11年度 延べ671人	支給対象者90人
介護慰労金支給事業	寝たきり老人等介護者に対して月額5,000円支給 H11年度 延べ770人	支給対象者90人
ふれあい安心電話管理運営事業	H11年度末 端末機設置台数100台 サブセンター設置	
老人憩いの家管理運営事業	H11年度利用 148日 延べ2,902人	
屋内ゲートボール場管理運営事業	H11年度利用 318日 延べ5,205人	
ネットワーク活動	H11年度末 ネット数 312件	安否確認月2回
ふれあい弁当配食事業	対象者117人、月2回	配食サービス月1回
ホームヘルプサービス事業	ヘルパー8人（H11年度末）年間派遣回数11,019回 派遣延時間数8,498時間	
老人クラブ	平成12年12月現在で30の単位老人クラブが設置されています。	
ボランティア活動	福祉分野のボランティア活動に関する情報提供や相談など関連の支援をするボランティアセンターを社会福祉協議会内に設置し、研修、広報、啓発、相談等及び需要調整などを実施しています。	地域福祉基金を活用した団体への助成・普及・研修に努める。
シルバー人材センター	平成10年 シルバー人材センターが設置され、会員数は63人（平成12年12月現在）で会員に対する仕事の紹介などを行なっています。	



議会のついでに  
14年4/1~14年6/30

- 16日 産業建設常任委員会
- 17日 総務文教常任委員会
- 22日 高野崎観光地開き
- 5月 東郡上磯5町村正



今別・三厩両町村議会議員交流会

- 4月 青森公立大学入学式
- 5日 議会運営委員会
- 8日 管内小・中・高入学式
- 11日 今別・三厩両町村議会議員交流会

- 29日 青函カートレイン整備促進協議会
- 30日 町総合センター建設特別委員会
- 31日 議員全員協議会



知内・今別両町議会議員交流会

- 13日 副議長研修会
- 17日 議会広報委員会
- 20日 市町村職員年金者連盟東青支部総会
- 21日 新幹線建設促進期成会
- 21日~22日 知内・今別両町議会議員交流会

- 27日 町民センター建設特別委員会
- 29日 町緑化推進委員会
- 西部・東部漁協合同植樹祭



町民センター建設特別委員会

- 4日 議会運営委員会
- 6日 総務文教常任委員会
- 7日 産業建設常任委員会
- 9日 町消防団観閲式
- 10日 第335回定例会開会
- 13日 第335回定例会閉会
- 15日 青森今別会総会
- 18日 総務文教常任委員会視察研修
- 21日 郡町村議会議員健康管理セミナー
- 25日 町民センター建設特別委員会視察研修
- 27日 町民センター建設特別委員会

議員提出議案

道路特定財源制度及び道路整備の促進に関する意見書

今別町は、津軽半島の北部に位置し、津軽海峡に面した臨海山村の町であり、夏はヤマセ、冬は酷寒であり誠に厳しい条件下にある。

このような当町にとって、自動車は町民の生活を支える足となっており、通勤・通学はもとより、生産物の輸送はすべて自動車に頼っている現状にあり、道路は最も基本的で極めて重要な社会資本となっている。

特別豪雪地帯であり、冬季には狭隘なため車の交差できない箇所や歩道の整備がされていない箇所等その整備は十分といえない状況にある。

道路は町民生活や経済社会活動を支える最も基礎的なもので、その整備を一層推進されるよう強く要望する。

請願書

二股地区の町道を拡幅

してほしい請願書

(提出者)二股地区総代、相内 寛・紹介議員 (嶋中忠也・阿部多喜男) ガード下から坂の上のカーブまで幅が狭く車が交差できない状況ですの

で拡幅するための請願書 ●有事法制に反対する請願書 (提出者)戦争いやだ、憲法まもれ! 県民の会代表、県原水協会長 小田切明和外5名・紹介議員 (佐藤 豪)

有事法制関連3法案 (武力攻撃事態法案、自衛隊法改正案、安全保障会議設置法改正案)を廃案にすること。

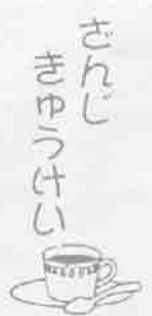
以上の2件の請願書は採択されたことにより、議会では関係機関へ意見書を送付いたしました。

陳情書

●義務教育費国庫負担法堅持に関する陳情書

●義務教育諸学校の学校事務職員・栄養職員の給与費国庫負担制度維持に関する陳情書

以上、2件の陳情書は委員会付託とした。



日本中を熱狂させたサッカーワールドカップ1次リーグで日本は、2勝1分けの、無敗で乗り切り、1位で同リーグを突破した。決勝トーナメント1回戦でトルコに0対1で敗れ準々決勝進出を逃した。世界の壁は、まだまだ厚いことを痛感。サポーターたちの熱狂ぶりにもただただ驚くばかり、トルシエ監督と選手の皆様、ご苦労さまで。 ▼景気の低迷が続く、先行き不透明で気持ちが晴れない。 ▼国は、不況対策をいろいろ打ちだしているが、効果は一向に現われて来ない。 ▼町の14年度予算執行は軌道にのりつつあるが、普通交付税が前年度に比べて9・2% (8,286,300円)の減少となり予算の見直しを強いられる。町としても何らかの景気対策と取り組む必要がある。